



滋賀大学

経済学部・データサイエンス学部

陵水会 京都支部

京都陵水 (第39号)

2026年4月1日発行

発行者

陵水会京都支部事務局

発行責任者 寺垣 敬司

※お問い合わせ等はFacebookかLINEよりお願いします

支部長あいさつ

緑の季節を迎え、京都支部の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。私は、陵水会京都支部支部長を務めております阿南 雅哉（大33回卒）でございます。まずは、前年度の支部総会におきまして多数の皆様にご参加頂きましたこと、改めて心より御礼申し上げます。昨年の支部総会は、事務局体制も刷新し新たな形で開催させていただきましたが、いかがでしたでしょうか？ご意見等がございましたら、事務局含めまして遠慮なくお申し付けください。今後とも、より参加しやすい支部総会の開催に尽力してまいります。

さて、滋賀大学におきましては、2025年4月から彦根キャンパスにおいて「イニシアティブ棟」の供用が開始され、また、旧大合併教室の跡地にデータサイエンスみらい創造館の新築工事も始まるなど、更なる発展に向けて大きく展開されています。さらに、教育・研究環境の充実および地域社会との連携強化を目的として、大学施設等を対象としたネーミングライツ（施設命名権）事業が2026年4月より導入されます。この事業では、大学施設等に企業・団体等の名称等を付与し、命名権料は教育研究活動の整備充実、学生支援および施設環境の向上等に活用されます。

このように、母校である滋賀大学も更なる発展を進める中で、私たち京都支部も、より魅力ある同窓会組織となるよう、近隣支部との連携や陵水会活動の強化、会員ネットワークの拡充、卒業生同士のつながりなどを様々な局面でサポートしてまいります。滋賀大学や現役生との結びつきがより発展できるような橋渡し役を担っていきたくと考えております。皆様のご協力あつての陵水会活動でございますので、今後ともご指導ご鞭撻並びにご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

陵水会京都支部

支部長 阿南 雅哉（大33回）

京都支部総会（令和7年7月12日）

令和7年（2025年）7月12日土曜日10時30分より、ホテルオークラ京都3F翠雲の間にて令和7年度陵水会京都支部総会が執り行われました。

滋賀大学長の竹村彰通様をはじめ、滋賀大学経済学部長の能登真規子様、陵水会理事長の池田直樹様（大28回）、大阪支部長の北本和志様（大25回）、兵庫支部長の伴俊作様（大24回）、大津・湖南支部長の宇野哲夫様（大27回）の来賓の御方々、京都支部会員の皆様、そして現役の学生さんも数名出席され、総勢約90名弱の皆様による新体制になって最初の総会となりました。



阿南 雅哉
支部長



池田 直樹
理事長

阿南支部長（大33回）の御挨拶にはじまり、竹村様からはイニシアティブ棟や、データサイエンスみらい創造館（1Fは大合併講義室）を通じて滋賀大学の社会連携や先端的研究、生涯学習やリスクリングに取り組んでいくお話を頂きました。池田様からは陵水会における運営上の課題の他、映画『国宝』の飛騨歌舞伎に関する面白い御話を頂き、会場が大いに盛り上がりしました。能登経済学部長の講演会「『百年の計』を考える」では滋賀大学の法改正に伴う役割や、志願者数の状況、今後の滋賀大学を持続可能な大学にしていくためのリブランディングの必要性（次頁御参照）について御講演頂きました。

講演の部の終了後の懇親会は大阪支部長の北本様による乾杯の音頭によって懇親会の宴がスタート。途中、兵庫支部（株式会社ヤマックス代表取締役）山内善朗様（大16回）より、ジョージアワイン赤・白各6本の差入れを頂き、抽選会を行い、大いに盛り上がり、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。



懇親会の様子

最後は毎年恒例のエールと彦根高商歌で締めました。

青地さん、今回も元気づけられるエール有難うございます。

支部総会・懇親会にあたって、開催前より準備・段取りに携わって下さった京都支部役員の皆様、お忙しい中、遠方よりお越し下さった来賓、京都支部会員の皆様に厚く御礼申し上げます。今回の本支部総会における反省点は事務局で共有し、次回の支部総会で限られた予算の中ではありますが、改善に努めて参ります。



青地慶紀さん（大32回）

▶ POINT

能登様の御講演のポイントと当日のスライドの一部を紹介致します。

滋賀大学の近況

- 彦根高商創立百周年事業
- 大学院改革

データ×アーツ×国際連携の総合知に基づくビジネスインサイトの向上

- キャンパスリニューアル

イニシアチブ棟、データサイエンスみらい創造館の建設 ⇒ **先端的研究**

社会と国と大学

社会情勢を踏まえた国からの要請に伴って教育基本法、国立大学法人法などが改正され、新たな知見の創造、成果の社会への提供が大学側に求められ、社会連携が課題となっている。

経済学部のリブランディング

地方国立大学の一般入試としては志願者数は多いが、将来の少子化に伴い対策が必要。直近の参考データ

	定員	2026年 志願者	倍率
前期日程	164名	602名	3.7倍
後期日程	140名	1537名	11倍

高等教育で培う力

Ⅲ 経済学部のリブランディング



教育未来創造会議「第一次提言」2022

好きなことを追究して高い専門性や技術力を身に付け、自分自身で課題を設定して、考えを深く掘り下げられる人材
多様な人とコミュニケーションをとりながら、新たな価値やビジョンを創造し、社会課題の解決を図っていく人材

高等教育で培う力

- リテラシー
- 問題発見・解決能力
- 論理的思考力・規範的判断力
- 未来社会を構想・設計する力
- 高度専門職に必要な知識・能力



滋賀大学経済学部（教育研究上の目的）

国際的視野を持ち、地域社会に貢献する専門職業人

意識・知識・見識／問題探究能力

滋賀大学経済学部の6要素

- Business ビジネス（経済と経営）
- Insight 見識
- Wisdom 知恵
- Awareness 意識
- Knowledge 知識
- Openness 広がり（社会システム）



能登 真規子
経済学部長

滋大祭2025～柳緑花紅～ 2025年10月25日（土）、26日（日）

滋大祭に行きました！

雨が降る10月26日、第59回滋大祭へ行ってきました。毎年、京都支部の有志で、JRの電車で揺られながら彦根駅を目指すのですが、今年は雨でした。しかし、彦根キャンパスでは雨の中、グラウンドに模擬店が出ていて歓迎してくれました。校舎内の教室では、演劇を観たり、ボードゲーム（正体隠匿系の人狼ゲーム）を楽しむことができました。恒例のお化け屋敷にも入りました。今年も行く予定ですので、滋大祭が近づけば、案内をフェイスブックの京都支部のページにアップします。

前田 敬暢（大42回）



就職戦線異状あり？

滋大祭に行った際、就職支援室が開いていたため、2025年度の就職状況についてお話を伺いました。世間では人手不足、売り手市場とも言われていますが、2025年から就職戦線に変化が出てきているとのこと。企業側の変化として、大手企業は、採用人数を減らしてきている模様です。

要因としては

- ・少子高齢化や人手不足が叫ばれ、各企業がAIを活用したことにより採用人数を減らしている。
- ・全体的に学生のレベルが低下しており、無理に採用する必要は無いという考えになってきている。

等が挙げられていました。この変化は滋賀大学としての今後の出口戦略がとても重要であり対策が必要であると感じているとのことでした。

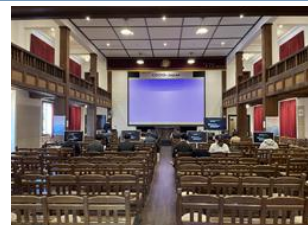
一方で学生側も多様な考え方から、様々な業界に活動範囲が広がってきており、満遍なく採用されているのが、一昔前とは異なる傾向であるとのことでした。

寺垣 敬司（大42回）

日本で初開催となる「データリーダーシップと組織内の情報の質」を議論する国際シンポジウム「CDOIQ-Japan」が、2025年12月4日（木）びわこプリンスホテル、翌5日（金）は滋賀大学彦根キャンパスにて開催されました。

CDOIQとは、CDO（最高データ責任者）やCIO（最高情報責任者）など、データや情報を利用して組織の価値を高めるリーダーたちが集まる国際的なシンポジウムです。2007年にアメリカで始まり、現在ではヨーロッパやシンガポールなど世界各地で開催されています。DXやAIの先進事例や課題、データガバナンスの知見を共有し、イノベーションを促進しています。（滋賀大学HPより）

彦根キャンパスでは、講堂以外にも2025年3月にオープンしたイニシアチブ棟なども会場となり、お昼休みにはイニシアチブ棟2Fで軽食が振舞われました。参加者は滋賀大学関係者だけでなく、データサイエンス関連の団体関係者や、海外からの参加者など多くの来場者で賑わっていました。様々な企業で活躍されているリーダーの皆さんが登壇され、講演内容も興味深いものばかりでした。今回はそんな中から御二方を紹介致します。



5日 滋賀大学（講堂）



イニシアチブ棟



まずお一人目はパナソニックのアルカリ乾電池EVOLTA NEO（エボルタ・ネオ）のテレビCMでおなじみのフィヨルド1,000m登頂にチャレンジのロボット（左写真）の設計開発者で、株式会社ロボ・ガレージ代表取締役社長の高橋 智隆様による講演『ロボット・AI時代の創造』です。ポイントを以下の①～③にまとめました。

①日本はロボットが普及せず

- ・アプローチの違い
日本はコツコツ努力
→壁に当たりやすい
- ・米・中はAI活用で大胆
→壁を乗り越える
- ・日本の国民性
第1世代を好まない 等

②ロボット作りのあり方

- ・従来 = 役立つものを作る
↓
- ・これから = つくりたいものを作る
開発 → 情報発信 → 普及 → 用途
※SNS等で情報発信、用途は最後に発現

③ロボットAI時代の人間

- ・個人の感性の発信と行動が重要
 - ・迷ったらユニークな選択肢を選ぶ
- 変な方を選択 → 困る → 良い経験 → クリエイティビティに富んだ人材に

豊かな暮らしが来る？



お二人目は芸術家であり、株式会社SANADA WORKS 代表取締役社長真田 将太郎様による講演『ポスト人口知能時代の芸術』です。画家と生成AIの織り成す芸術という非常に興味深いテーマのお話でした。

真田様は東京芸術大学卒業後、東京大学大学院にて人工知能を用いた美学と工学の領域横断的研究を行い、創作過程における人間の創造性を探求されています。

作品のアウトプットよりプロセスとその時間構造の把握が重要で、創造のタイムラインを記録し、次の手を打つまでに何処で迷って、時間が掛かっているのか（同じ個所を何度も塗り直す等）のデータを取り、キャンパスに現れる変化を時間軸に沿って抽出していきます。芸術家が陥る孤独な長時間の悩み、つまり手が止まっている時にAIが次の一手を提案することで、ブレークスルーが起り、相互的で爆発的なクリエイションが起りえるのです。従来の創造性（=新規性+価値性）に、人が『問い』を加え、価値判断を下し、身体を通じて表現する。AIは次の一手の検索空間を高速に広げるパートナーであり、決して芸術家がAIに呑み込まれるのではない。これからの造形芸術はAI時代の情報環境を新しい風景として翻訳することも可能であり、アートとデータサイエンスが共存できるといった内容の講演でした。

京都支部トピックス

2026年京都支部総会開催のご案内

※昨年と同様、午前開始です。御注意願います。

【日 時】 令和8年7月11日（土） **受付開始 10:00** 総 会 10:30～11:00
講 演 会 11:00～ 懇 親 会 12:15～14:30

【場 所】 ホテルオークラ京都 3F翠雲の間

【参加費】 10,000円（京都支部会員の皆様で支部会費未納の御方は、2,000円を追加でお願いします）

※特別割引 2026年卒（新卒）は5,000円、2022年～2025年卒は7,000円、今回初参加の方は7,000円尚、領収書は希望者のみの発行となります。希望者は受付時にお申し出願います。

※会員の皆様、未会員の先輩・同期・後輩の方々もお誘い合わせの上、皆様の御参加を心よりお待ちしております。お知り合いで案内の届いていない方の出席希望があれば、Facebook又はLINEを通して事務局まで一報願います。

陵水会京都支部 (2026年4月1日現在)

【住所】 〒612-0052 京都市伏見区深草墨染町8-8 (水谷善彦方)
 【役員】 (敬称略)

支 部 長	阿南 雅哉 (大学33回経済)	副幹事長	藤本 方子 (大学33回経営)
幹 事 長	森口 雅和 (大学31回経済)	副幹事長	宮嶋 真也 (大学33回経済)
副幹事長(事務局長)	水谷 善彦 (大学37回経済)	副幹事長	寺垣 敬司 (大学42回経営)
副幹事長	四方 敏行 (大学32回会計)	会計幹事	梅本 顕宏 (大学46回会計)

※紙面の都合上、支部長、幹事長、副幹事長、会計幹事までの案内とさせていただきます。

京都支部会計報告 (2025年4月1日～2026年3月31日)

貸借対照表の状況

(単位:円) 収支計算

(単位:円)

資 産	1,275,953	負 債	0	総収入	1,314,871
流動資産	1,275,953	流動負債(未払役員立替)	0	年会費	407,000
現金及び預金	1,176,854	固定負債	0	本部交付金	101,800
仮払金及び未収金	99,099	純資産	1,275,953	総会費	806,000
固定資産	0	繰越利益剰余金	1,275,953	受取利息	71
資産合計	1,275,953	負債純資産合計	1,275,953	総費用	1,218,829
				通信費	273,403
				印刷費	44,911
				総会費	882,180
				その他(会議費,消耗品費,手数料)	18,335
				損 益	96,042

陵水会京都支部では年会費 ¥2,000-/1口を皆様にお願ひ致しております。収支状況は表の通りです。赤字は回避できたものの支部運営は依然厳しい状況が続いております。これからも支部運営につきましては皆様からの御意見も賜りつつ、持続可能な方法を探り、工夫を重ねて各費用のコストダウンを図り、支部運営の改善に努めて参ります。

会員の皆様におかれましても、お一人でも多くの方に年会費納付の御協力を賜るべくお願い申し上げます。当支部年会費の振込方法につきましては、毎年郵送致しております振込用紙にてお振込み下さいますようお願い申し上げます。

情報発信

NextRyosui公式LINE

NextRyosuiは、社会に出ている卒業生の皆様、卒業年次に関係なく、現役学生も含め多くの方々とつながり、日々の活動に少しでも活かして頂ければという思いで立ち上げた滋賀大学の公認サークルです。ぜひお気軽に御参加下さい。



NextRyosui公式HP

<https://nextryosui.jp/>

公式ホームページには、ツイッターやYouTubeのリンク先もあります。



陵水会京都支部Facebookのご案内

陵水会京都支部では、Facebookにて情報を随時発信しております。

<https://www.facebook.com/groups/245024748952366/>

お一人でも多くの皆様に御参加頂き、種々情報発信頂ければ幸いです。お知り合いへの呼びかけなど、御協力宜しくお願い申し上げます。



京都陵水若結会LINEのご案内

陵水会京都支部 若結会のLINEを開発しています。日々の雑感や写真など色々な情報をアップしてます。

LINE参加に年齢制限は有りませんのでお気軽に御参加下さい。



陵水会京都支部からのご案内

陵水会のホームページに京都支部からのご案内のページが開設されました。ここに支部総会の案内や、新聞など掲載致します。



【編集後記】

最後まで読んで頂き有難うございました。従来京都陵水新聞として紙媒体で発行してきましたが、経費節減を図るため、**今年から電子データによる閲覧**を主とさせていただきます。簡易な編集スタイル(文面は投稿下さった方々の文面を尊重し掲載)、皆様に気軽に且つ、身近に読んで頂けるよう、新聞形式からお便り形式としております。皆様からも、何か発信したい情報があれば、お気軽に事務局までLINEやFacebook等から寄稿下さい。今後も年1回は発行し、京都支部Facebook又はLINE(若結会)等で案内致しますので、上記のQRコードから申請の上、引き続き御愛読のほど宜しくお願い申し上げます。